

委員会活動

令和6年
7月1日(月)
～2日(火)
環境福祉委員会

7月1日(月)
環境生活部関係の質問

- 山口県災害廃棄物処理計画の見直しについて
- 災害廃棄物処理支援員の登録等について

7月2日(火)
健康福祉部関係の質問

- 要介護認定業務のデジタル化について

Pick Up!
しました



もっと詳しく
Pick Up!

要介護認定
業務のデジタル化、
山口県として
どう考えている?



★県外
5/28(金)～31(日)
北海道

①函館市

渡島総合振興局

調査項目
・ゼロカーボン北海道の取組について
・渡島V2Bシステムについて

③-①札幌市

自閉症者自立支援センター「ゆい」 | 自閉症者地域生活支援センター「なないろ」

調査項目
・自閉症者自立支援について

③-②札幌市

医療的ケア児等支援センター | 医療的ケア児支援について

③-③札幌市

動物愛護管理センター「あいまるさつぽろ」 | 動物愛護に係る取組について
ZEBの推進について

★県内
2/15(金)～16(土)
神奈川県

①横浜市

大成建設株式会社技術センター

調査項目
・カーボンニュートラルの実現に向けた先進技術について

②川崎市

株式会社レゾナック

川崎事業所

調査項目
・水素エネルギーの活用について

県内外調査視察

★:環境福祉委員会視察 / ♥:産業脱炭素化推進特別委員会視察

令和6年
2月～7月

★県内
7/22(日)

①山陽小野田市

山陽小野田市立
山口東京理科大学

調査項目
・薬剤師育成・確保に関する取組

②山口市

有限会社光田商店

調査項目
・廃棄物リサイクルに関する先進的取組

♥県内
5/21(金)

①山口市

中国電力株式会社
山口支社

調査項目
・水電解装置、水産化マグネシウム、バイオマス燃焼灰の活用

②宇部市

・UBE三菱セメント株式会社
宇部セメント工場

・UBE株式会社

7/23(金)

①周南市 株式会社トクヤマ

調査項目
・水電解装置、水産化マグネシウム、バイオマス燃焼灰の活用

②防府市

マツダ株式会社防府工場

調査項目
・生産車両の電動化対応状況

ふくだ 福田りえこ

県政レポート

Vol.
3
2024.08



福田りえこが
県政の課題を自分の目で見て、
皆様の声を聴いて、調べて、
考え、行動に移します!!

皆さまの
ご意見を
お寄せ
ください!

ご挨拶

謹啓
残暑の候 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
県議会議員として当選させていただき一年が過ぎました。日に日に皆様からのご相談やお声がけをいただくことが増えてまいりましたことは、本当に有難く、心強く思うばかりです。今後も県勢発展のため尽くしてまいります。
皆様が実り多き秋を迎えられますようお祈り申し上げます。
山口県議会議員 福田りえこ 謹白

令和6年
2/9
山口県
消防学校視察



令和6年
3/1
山口県立
新南陽高等学校
卒業証書授与式



令和6年
3/22
阿武町
木の駅プロジェクト視察



令和6年
2/10
第4回 Yamaguchi
Pitch Day in 松下村塾



令和6年
3/3
レノファ山口応援
山口県議会
スポーツ応援議員連盟



令和6年
3/26
大阪府吹田市
調査項目:北大阪
健康医療都市(健都)の
まちづくりについて



令和6年
7/7
清流錦川
一斉清掃



令和6年
7/19
京都府・京都市
調査項目:
ふるさと納税都道府県域の
取組・政策評価について



令和6年
3/27
平瀬ダム完工式

令和6年
6/27(木)
一般質問



子育て支援

①仕事と子育ての両立を支援する職場環境づくりについて

デジタルインフラ

②運転免許行政のデジタル化について

TYSテレビ山口の夕方のニュースで放送されました!

地域活性化

③工業用水の安定供給について

- (1)工業用水を活用した企業誘致について
- (2)渇水対策について
- (3)持続可能な工業用水道事業の実現について



① 仕事と子育ての両立を支援する職場環境づくりについて

問

こどもや子育てにやさしい休み方改革キックオフシンポジウムが開催されました。中では「行政支援メニューを有効活用できるよう情報提供していくこと、子育てに直接関係する人以外にも伝え、みんなで発信していくことが必要」という意見もありました。

仕事と子育ての両立を支援する職場環境づくり制度の周知と浸透についてご所見をお伺いいたします。



この場では休み方を変えると会社も子育ても変わるという知事の想いや県の目指す社会の姿が伝わりました!



★支援策の一例★



◀令和6年度「働き方改革推進支援助成金」労働時間短縮・年休促進支援コースのご案内について



◀令和6年度両立支援等助成金のご案内について

★「とも×いく」応援企業」マーク



共育でという意味と、家族や地域社会、企業なども「ともに・もっと・いくじに・くわわって」という願いを込めており、年齢、性別を問わず、全ての人がこどもや子育て中の方々を応援することを示しています。

★「くるみん」マーク



次世代育成支援対策推進法に基づき、仕事と子育ての両立を支援する企業として厚生労働大臣の認定を受けた企業に付与される「子育てサポート企業の証」です。

② 運転免許行政のデジタル化について

問

モデル事業として実施されたオンライン講習について、どんな成果があったと考えますか?
また、運転免許証更新に係る利便性及び業務効率化についてご所見をお伺いいたします。



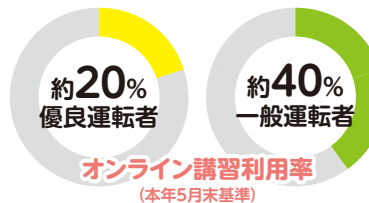
答

山口県警察本部長

運転免許行政のデジタル化は、県民の皆さんの利便性向上や業務の効率化を進める上で非常に重要であることから、その実現に向け各種取組を推進しております。

オンライン講習受講者の方の声からも、県民の利便性の向上につながっているものと受け止めています。他方で、様々なご意見・ご要望の声もあることから、例えば、手続きを分かりやすく説明する案内動画を作成するなど、更なる利便性の向上に努めております。

①オンライン講習について…



時間が短縮された!

次回もオンラインで受講したい

あらかじめ受講すれば、県総合交通センターや警察署で講習を受講する必要がないので受講率増加!

②受付手続のデジタル化について…

これまでの計画に基づき、全国共通の自動申請受付機の本年度中の導入と運用開始に向け、諸準備を進めております!



導入予定の自動申請受付機が導入したら…

申請における手書き記載が大幅に削減され、利便性&業務の効率化UP!

県警察といたしましては、今後のオンライン講習の全国運用や運転免許証とマイナンバーカードの一体化を見据えつつ、利便性の更なる向上と業務の効率化に向け、知事部局等とも連携し、運転免許行政のデジタル化を推進してまいります。



③ 工業用水の安定供給について

問 (1)工業用水を活用した企業誘致について

※経済産業省HP引用

工業用水ってなに?

「工業」とは、製造業、電気供給業、ガス供給業及び熱供給業を指し、これらの工業の用に供する水(水力発電用、飲用を除く)のこと

山口県の工業用水の特徴



本県が誘致に力を入れている半導体関連産業においても、その進出には工業用水の確保が欠かせません。

工業用水を活用した企業誘致について、これまでの実績と合わせ、今後、どのような見通しを持たれているのかご所見をお伺いいたします。

答 産業労働部長

積極的な誘致活動を展開しています!

大都市圏で開催する企業立地フォーラムや県ホームページなどにより情報発信

本県ものづくり産業を代表する基礎素材等の生産活動を支える工業用水は、県が重点成長分野に位置づけている半導体関連産業にとっても不可欠なインフラである

過去10年に、大手化学メーカーや自動車部品工場の増設など約10件の工業用水を活用する企業の誘致を実現

県として、引き続き、1社でも多くの企業誘致が実現できるよう、市町や関係機関と連携し、工業用水をはじめとした立地環境の優位性を活かした誘致活動に取り組んでまいります。

問 (2)渇水対策について

令和5年 周南地域

- 工業用水65%、上水30%の自主節水が実施
- 菅野ダムの貯水率が29%まで低下



県全体の給水能力の40%を占める量

工業生産活動の発展や企業誘致の促進という視点からも、自主節水による周南地域での企業活動への影響をより小さくしていくことは重要な取り組みであります。

これまでの渇水対策とその対策による結果、今後の工業用水の安定供給に向けた対策についてご所見をお伺いいたします。

答 企業局長

工業用水の渇水対策

★周南地域において…

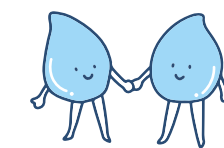
下松市からの応援給水や島田川工業用水道の整備などにより、水系を越えた広域的な供給体制を構築し、効果的に運用します。

★渇水対策を強化するために…

関係機関等で組織する「**利水運用対策周南支部**」を設置して菅野ダムの貯水量の温存等に努めました!

山口県企業局「**利水運用対策周南支部**」の設置について

今後とも、関係機関等と緊密に連携し、引き続き、ダム貯留水の確保に努めるとともに、水系を越えた広域的な水運用を実施するなど、渇水対策に取り組むこととして



問 (3)持続可能な工業用水道事業の実現について

工業用水道施設は、本格的な施設更新時期を迎える中で、様々な課題に直面しています。

・老朽化対策

・効率化

・耐震化

・施設強靱化対策

・維持管理の高度化

・複数事業の広域化による安定供給体制の強化など…

現在、経済産業省において、持続可能な工業用水道事業の実現に向けた今後の方策について検討し、この秋を目途に取りまとめを行うこととされています。

その検討の中には、経済・産業の在り方を踏まえるとともに安定した供給体制の確保が実現できるよう、しっかりとユーザー企業も巻き込んだ新たな計画の検討・策定をすることが指摘されています。

持続可能な工業用水道事業の実現に向けて、企業局として特に重視していることやユーザー企業との情報共有、地域振興政策との連携、民間活用について、どのようにお考えでしょうか。

答 企業局長

企業局では、工業用水を安定的に供給するため、ユーザー企業等としっかりと協議を重ね、外部有識者の意見等を聴取して策定した経営計画に基づき、様々な取組を進めているところです。お示しのとおり、現在、国において検討されている今後の方策について、その動向も注視しながら、工業用水の安定供給に取り組んでまいります。